

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、鴨江圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年12月14日（木）9時30分から11時15分まで
参加者	委員：12人 事務局：11人
場所	浜松市福祉交流センター 43・44 ギャラリー
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議内容</p> <p>(1) 第1回 協議体会議の振り返り パワーポイント資料を用いて、第1回協議体会議の振り返りを行った。</p> <p>(2) 前回グループワークでの意見の中より 男性参加を促すにはとの声が多く聞かれたため、地域包括支援センター板屋主催で ご家族の介護をされている男性に向けた「男の料理教室」、社協だよりに掲載された 健康麻雀のサロンを紹介。</p> <p>3. グループワーク 健康づくり～高齢者の外出の機会を創出するには～</p> <p>①各自治会集会所の使用状況について</p> <p>②中心となりうる人物や参加しやすい集いとは</p> <p>《Aグループ》</p> <p>①・元魚町集会所は一般に貸出はしていない。自治会、保護司の会合、町のイベント 時に利用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨江南町公民館は自治会定例会、餅つき大会、夏祭り、自主防災隊会合時に利用 サロンがないため、子ども会のクリスマス会、夏休みのイベントまた公文へ貸出を 行っている。餅つき大会は老若男女集まり盛り上がった。 ・中山町公会堂はお祭り、自治会会合、シニアクラブで利用している。 使用料はかかるが俳句会や習字教室などへ貸出を行っている。夏祭りや餅つき大会 が交流会となっている。 ・西伊場集会場は自治会、むつみ会（シニアクラブ）、ようか会（凧揚げ）が利用し ている。シニアクラブではモルック、輪投げ、カラオケなどやっていた。 餅つきは三世代交流でやっている。お餅を待つ間に昔の遊びを子どもたちと行っ た。 ・浅田自治会館は総会、自治会長会議、民児協などが利用している。 小グループで昼間に使っている様子が見受けられる。 認知症サポーター養成講座を実施したこともある。 ・神田町公民館はお祭り、草刈り、高齢者サロン（毎月1回）で利用している。 <p>②・自治会役員経験者→先導してもらえそう、理解も早そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへ地域の方より戦争の体験談やむかしあそびを一緒にしてもらおう。（子 ども会や小学校などで） ・男性はストレッチ・サロン・体操とつくものへの参加が少ないように感じる。例

えばゴルフ・卓球・麻雀・将棋など行うものがはっきりわかるものには参加しやすい。

・PC 教室やスマホ教室は教えてというより遊ぼうという雰囲気を感じられるものに参加しやすい。

・おまつりのつながりが高齢になったにもつながってくる。

・子ども会など自治会の活動に巻き込むのはどうか。

・女性に参加してもらおう→自治会の役員など

女性があつまりに参加してもらいやすい。

・スーパーの移動販売車が来る前後など、ベンチを置いたりしてみるのはいかがでしょうか。

→ゆるやかな集いの場になるかもしれない。

・のれんやのぼり旗など目に見えて、のぞいてみようと言う気持ちにさせるものを設置してみるのはいかがでしょうか。

・青空将棋や囲碁など簡易的な道具を持参し、公園等で行うのも集いの場になりうるのではないか。

《Bグループ》

①・東伊場は賀茂神社集会所を自治会館として利用しており、普段は自治会の会合や各部会（寿会や子ども会、壮年会等）でも利用し、浜松まつり開催時には拠点として活用されている。神社の所有であるため神社の行事が優先。

・中山町では公会堂にて色々な活動をしている。

シニアクラブの会長が色々企画し、輪投げや吹き矢、カラオケなどを実施している。普段はなかなか人が集まらないが、餅つき等食べ物があると多くの人が参加する。

・春日町は江西会館を拠点として使っており、会合や藤の会など行っている。

ただ、江西会館は市の建物で、児童館も併設していることから子育て世代は使いやすいが地域の高齢者は階段があり使いづらさもみられるが、利用する人をささえる気持ちをもつ人が多いと感じる。

・白山神社の社務所も自治会活動に使用しており、12月にはお菓子、弁当、ケーキなど配布するイベントがある。イベントごとになるとこの場所を使い、多くの人が参加する。過去には住民を対象としたBBQ大会が好評だった。

・南浅田公民館では三月会を月1度実施、60歳以上の方が参加している。

公民館の利用は、町内の人は無料だが、一人でも他町の人がいると有料。主な利用団体は子ども会、自治会、公文、くるみ作業所等。

・協働センターでは様々なサークル活動があり、地域住民も多く利用されている。健康マージャンのサロンもいくつかあり、女性限定のマージャンサロンも立ち上がっている。大人の遠足（まち歩き）で4キロ近く歩くイベントを開催。参加者は限定されている。

②・ラジオ体操がつどいの場となっている。男性の参加者もおり参加のきっかけは奥さんからの声掛け。地域であたりまえに行っていることに自然に参加できるのが良

	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所での声掛け、声をかけてもらえることが大事。回覧板ではあまり効果がない。 ・声掛けを頼むと身近な人に定着する。 ・鴨江の歌声サロンは男性も女性も参加している。 ・新たなイベントごとを行うよりも、既存のイベントを継続して行うことが大事。 <p>5. 事務連絡</p> <p>第3回協議体会議日程 令和6年2月28日(水)</p> <p>6. 閉会 鴨江圏域生活支援体制づくり協議体 会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回は各々の自治会集会所の利用状況について情報共有ができた。どのような催しごとに地域の住民が参加しているのかを話し合う中、参加者の多い催しには共通するところがある。まずは既存の地域資源を活用しつつ、今まで参加できていない人にも関心を持ってもらえるような手段も検討していきたい。</p>